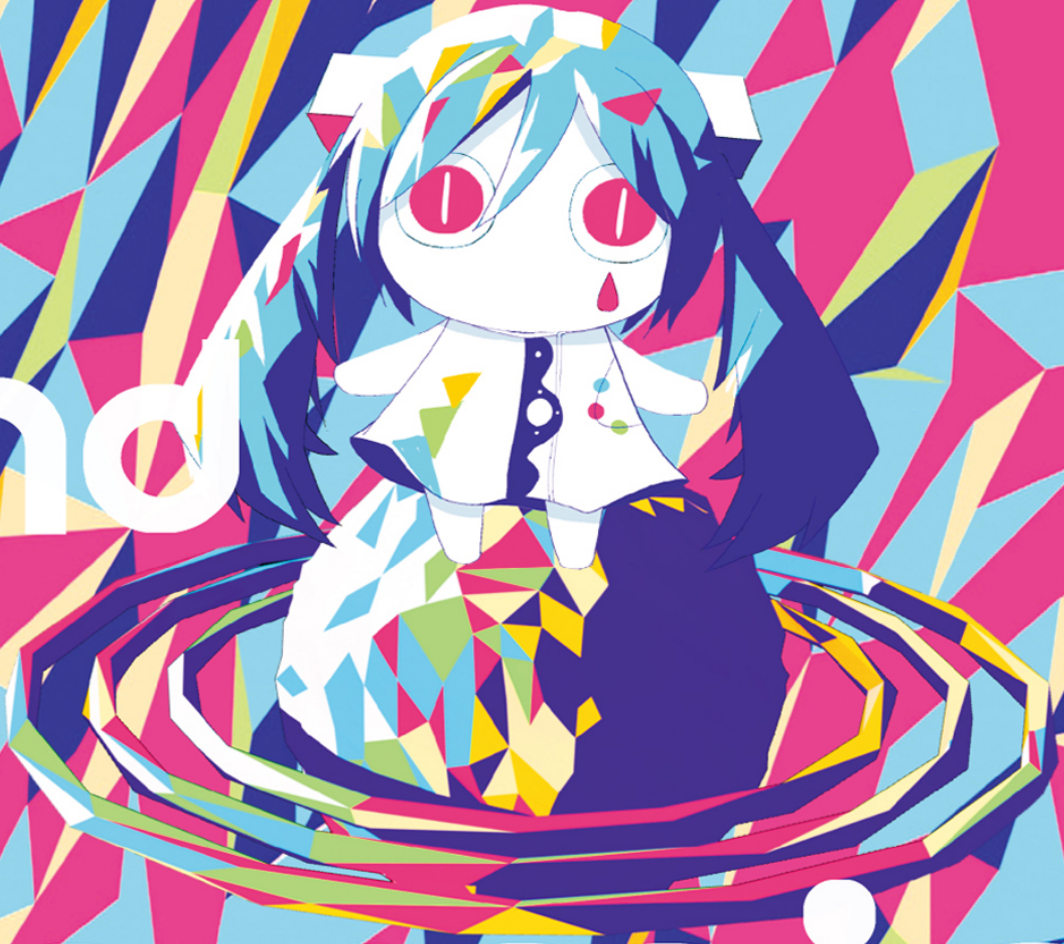


Comic

pinocchiop

and



Cosmic

ピノキオピー
pinocchiop



コミック アンド コズミック

Comic and Cosmic

DISC2 Cosmic

- 01 ほくも肩だから
 - 02 胸いっぱいのだめを
 - 03 ニナ
 - 04 週刊少年ハイハイ
 - 05 m/es
 - 06 アッカンベーダ -miku ver-
 - 07 こどものしぐみ
 - 08 ストレンジアニマル
 - 09 かえるたちのうた
 - 10 遊星まっしらけ
 - 11 ひとりぼっちのユーエフオー
 - 12 忘れちゃったのどうして
 - 13 ゲームスペクター2
 - 14 スケベニンゲン
- Bonus Track
たのしいホームワーク

DISC1 Comic

- 01 Floating Shelter
 - 02 からっぽのまにまに
 - 03 ユメネコ
 - 04 tel tel
 - 05 OZ
 - 06 腐れ外道とチョコレゐト
 - 07 とうめい
 - 08 人間なんか大嫌い
 - 09 恋するミュート
 - 10 はっぴーべりーはっぴー
 - 11 Paraiso
 - 12 アイマイナ
 - 13 さよなら、たましいさん
 - 14 どうしてちゃんのテーマ
- Bonus Track
マンネリズム

01 Floating Shelter

部屋の壁に理想 描いて 折れたクレヨンが匂い臭いだ
漫画で作った秘密基地で IFの世界を夢見ていた
アラームセット忘れちゃって 朝も夜もふざけあって
文字と記号の掃溜めから 他者承認を望んだり

そして
のんびりして1年目 石から落ちて3年目
無感動の影がじわりじわり
太陽も月も消えた この部屋で立ち止まって
真っ白な顔 引きつって
悔しくて 変なダンスを踊る

ゴミとユーモア 寄せ鍋にして 現実立ち向かおうとした
あんまりなジョークもちゃんと食べて
ギリギリの笑みをたたえていた
鳴らない電話 知らない隣人 いかれた勧誘 ジャージの天使
みんなの心を覗きたいな でも私の心は覗かせないのだ

よくある話ね

不安を越えて6年目 後に引けずに10年目
突き刺さるは 光陰矢の如し
憧れも星も消えた部屋のドアが開かなくなって
馬鹿みたいって吹き出して
押入れのクレヨンを ライターで燃やす

一筋の期待は 黄昏の間に溶け
水増しの虚飾に染まる
息苦しくなって 顔を手で覆い 寝そべると
時間はうざがって さらに加速

知ったことかよ
なすがままに50年目 行き着く果ては100年目
最初の気持ちを忘れた頃に
太陽も月も消えた部屋のドアが 急に開いて
その向こう 再び逢った
昔 理想を描いた あなたは どんな顔してる？

02 からっぽのまにまに

いつか ここで生きていたことなど 忘れちゃうから
大切なもの 棄て変えて げらげら笑うの
いつか ここで演じてた弱さも 忘れちゃうから、ねえ
酒気 帯び帯び 季節の匂いを着に泣こうぞ

ぎゅうぎゅう詰めのおんぼろ貨物に乗り合わせ
まっくら駅の終点へと 馬鹿っ面 ゆらゆら 発車オーライ

からん からん からっぽのまにまに 終わりなき錯覚を
ぼんやりと 月に浮かべるより
あっという間に 死んじまうからね！
本日は 大好きな君に会いに行こうぞ

いつか 暖かな春の陽射しも 忘れちゃうから
震える君の 冷たくなった手を そっと握るの

急場しのぎで 歯の厚くセリフを貼り合わせ
どっぶり漬かったグロい夢も 甘く染まっちゃった ダメ脳内

からん からん からっぽのラブソング 投げやりに歌うんだ
本当の気持ちを隠すように
みんな同じ まともじゃないからね！
悲しくて かりそめの恋 ダビングしちゃうぞ

目に映るもの全てを「奇跡」に塗り替えてみても
心うつろい全てを「無意味」と意味つけてみても
いつか ここで生きていたことなど 忘れちゃうから、ねえ
触れて狂える 泡沫の日々をよく見ておくよ

からん からん …
からん からん からっぽのまにまに 終わりなき錯覚を
疑って 手品を観てる隙に
あっという間に 消えちゃうからね！
こんにちには！ どっか遊びに行こう

君もぼくも存在した 未来と過去の間
今 それを感じていますので
色々ありますが 本当は無いかもなんですけど
なんとなく なんとなく ただ、なんとなく
なんとなく なんとなく
君と笑っていたいの

03 ユメネコ

おやすみ 良かった また今日が終わる
卑怯な ぼくらは すやすや眠る
冷えた校舎で 通り魔は踊り
それでも 子猫は こんなにも可愛いのです

友達百人できたらいいな
だっど お化けじゃ 仲良くなれないや
夜空の向こうで 鏡音が聞こえる
それでも ケーキで頬っぺたは落ちる

不条理の夢に ドロリ落ちて
名札をなくして 泣きじゃくりました
星の声 するべに 旅はまだ続く
裏切られ 見透かされ
壊れちゃった 素直を探して

唾臭いピアノカ ビーヒャラ吹きながら
煙突上からあの世を見下ろす
優しかったノイが ママの首絞める
それでも 音楽は絶えず囁く

逆上がり途中に落ちることとして
地球を どこかへ見失いました
ランドセル背負って 旅はまだ続く
舌打ちと 陰口と
優しい嘘たちに まみれて

幻の国を創りあげて
教科書の片隅 戦っていました
落書きの武器持って 君を塗りつぶす
鉛筆で 何度でも 何度でも

懐かしい事に 感わされて
上履きのままで 走り出しました
眠りから覚めても 旅はまだ続く
諦めと 荷立ちと
ちっぽけな楽しみを抱えて

おはよう 良かった また今日がはじまり
きらめく埃をあくびで吸い込む
壊れた頭上をミサイルが飛んでく
それでも 子猫は こんなにも可愛いのです



04 tel tel

ポケットから こぼれたジャリ錢拾い
アスファルトの隙間から 蜘蛛が飛び出す
くしゃみをした刹那に影が途切れて
やがて悪天候の憂鬱が お部屋に住まう

重油流れてる
アイスクャンディー 欲しがってる
6時間 眠っても
あの人がなくて恋しい

てるてる坊主が なんでんかんでん惚れ腫れ
純情王子の変声期
脳内会議じゃ 騒然混線電話が
理性奪うのです

転んで泣いて五月雨 痛い飛んでいけ
縛って隠れて気づいた どっこフォーディーニ
席れたヒーロー見送った 屋上遊園地
やがて 六畳一間のぬるいビールを
ふやけた西陽が照らす

風邪引き休んだら BAD ENDルートになって
言い訳ばかりして
なにかにつけて 君に会いたい

てるてる坊主が ホウレンソウを忘れて
ひとりぼっちの衛生兵
変なクレームの一点集中砲火だ
予報外れの
てるてる坊主が情報漏洩 首相官邸
ミニスカ少女の成長期
八方美人で ハレとケケガレ
降らずは天気雨

05 oz

足手まといにならぬように みんなが目くらたてぬように
傍から自然に見えるように 君は不自然に笑う

太陽が夜空を食べるように 月が真昼に刺さるように
紫が猛毒に染まる前に ぼくは不幸なうたを歌う

君も落し物をしてること こっそり気づいている
無邪気に病んだ その優しさに
不器用な光 見つけたから

ずっと他人前じゃ 失敗続きだった しょぼい魔法も
君の前だけでなら ちゃんとうまくカタチにできそうなんだ

喋れば 裏側を探るように 黙れば 顔色何うように
損な物語 埋めるように 空想抱きしめて笑う

ぼくが探し物を見つけたこと ほっきり伝えなくちゃ
無様な姿を許されるたび
もう少し歩けると思えたから

ずっと他人前じゃ 失敗続きだった しょぼい魔法が
夜の孤独を溶かして ふたり 似てる世界を分け合えたような

でも 足りない言葉 塗りたくっても 別の夢を見ている君に
ぼくの夢は重ならなかった そんなの 気づいていただけ

すぐに 月日を経て 意味をなさなくなる 脆い魔法は
砂場のお城のように まだ そこにあって
ずっと他人前じゃ 失敗続きだった しょぼい魔法も
君の前だけでなら ちゃんとうまくカタチにできそうだった

足手まといになったとしても みんなが目くらたてたとしても
傍から不自然に見えるけれど ぼくたちは自然に笑う
別々の場所で 自然に笑う

06 腐れ外道とチョコレート

ここだけの話
となりのクラスの先生と 同じクラスのAさんが
マー いけないこと インモラルなこと
噂のたまごが割れちゃって
地下 奥深く 鎖に繋がった おかしな秘密が
渋谷の駅前で 丸裸のダンシング

「仲間にいれてね」「話に混ぜてね」先祖代々の伝言ゲーム
流れ流されて健全に 昇らばっばら ぼっばっばら！
みんな 唾液まみれのゴシップニュース にちゃにちゃ頬張ってんだ
嗚咽がだんだんクセになり 腐れ外道に ほだされた

あることないことばっかの甘い甘いチョコを舐める 嗚呼
真偽はどうあれ添加物だらけ 美味しい餌をあげる
綺麗ごとは嘘くさくて 下世話な蜜が真実でさ
あなたもかい？ そりゃ私もそうだよ 安直だね

内緒のお話
今をときめくあのスターも 立派なあの大先生も
惚けたふりの私たちも 昇 だんだんでいたん だんだんでいたん！

脳内は煮え立って 私利私欲や 嫉妬が渦巻いてんだ
カード切る場所を探したり 爆弾抱え微笑んだり

銀紙の中身暴けば わかりやすく人は群れる 嗚呼
その裏こっそり 誰かが黒い雨を降らすのでしょう
数多のニーズにこえて 利害の一致を売っただけさ
あなたもかい？ そりゃ私もそうだよ

例えばあの〇〇〇〇の〇〇〇〇が
実は〇〇〇〇っていうこと
それはもう〇〇〇〇で 〇〇〇が
〇〇〇〇！！

虫食い跡の残骸に あなたならば何を埋める？
やましさに生えたしっぽを 特別撫ませせてあげる
見えちゃうゾレは見えないけど
見えないアレは見たいのです
なぜなぞぞぞぞ その答えは何でしょう

「わかんない！」

あることないことばっかの甘い甘いチョコを舐める 嗚呼
真偽はどうあれ 添加物だらけ 美味しい餌をあげる
銀紙の中身暴けば わかりやすく人は群れる 嗚呼
その裏こっそり 誰かが黒い雨を降らすのでしょう
綺麗ごとは嘘くさくて 下世話な蜜が真実でさ
あなたもかい？ そりゃ私もそうだよ

なんか嫌だね

07 とうめい

ぼくの言うことは信じちゃダメだよ 今はまだ
汚い建前 綺麗な本音を遠くで 吐くから
いつかはちゃんと 君に迷惑もかけるし
嫌な気持ちにも させてあげるから
だから 今は ぼくの言うことは
信じちゃダメだよ

君に 似たような奴なんて いくらでもいるよ
ぼくと 似たような奴だって いるほどいるから
やがて どうめい どうめい どうめい どうめい
どうめいになるのです
うるんな想いが 供給過多になるから

醜いとこ 引っ掻きたくなるだろ いつだって
平穩の線にくるまったままじゃ 騙されちゃうから
終わりを見据えて 始まりの一步選れて
疑って 触れて 気づいて 信じて
言葉や音楽や絵が 脳髓に溶けていったよ

空疎で優しいエトランゼ そんなもんで泣くなよ
こんなに愛しくなるなんて 頭おかしいのかな
やがて どうめい どうめい どうめい どうめい
どうめいになるのです
予防線の絶望を各所に張りながら

君が消えたらぼくはとっても寂しいけど
ぼくが消えたら君はどんな気持ちになるのかな
ご都合主義の世迷いごと

君に 似たような奴なんて いくらでもいるのに
こんなに胸が苦しいのは 変な病気なんだらう
だって どうめい どうめい どうめい どうめい
どうめいな ぼくの世界を
君の世界に認めてくれるのなら
もう少しだけ ここにいてもいいのかな なんて
馬鹿なこと 思ったりして



08 人間なんか大嫌い

新興宗教丸出しニューヒーロー
館と劇薬ばら撒きブレインウォッシュ
誰もが胸ときめくスマイルで 愛する君のため ホロコースト
交尾に狂ったエビゴネン ドブに飲った一子相伝
禁欲のちに悟り開きて 結果、変死体です

いらっやいませ、お通りください土の中へ
安直な他者否定 とでもカッコいい Eからね！ ><

神様 如何様 仏様 優しくねTONIGHT☆
例の発作 名称はミュンヒハウゼン症候群ですわ
One for All, All for わんわんお！犬が好き！
猫も好き！君も好き！ だけど…人間なんか嫌いだし！

頭蓋に穴をぶち抜きてえネーション 少女娼婦が見ていたU・F・O
歯列矯正じゃ癒えぬ精神病 怖くないからおいでスケープゴート
マイナスイオンで空を飛べ 保険の効かないゼロサムゲーム
狂人めいた真実の叫びに 誰もが耳を貸そうとしない
静かなブームを踊りましょう パーナム効果で踊りましょう
後光を背負い食っちゃいましょう 似非アイドル集団

いらっやいませ、この曲を聴いた あなた方へ
安寧と現世利益を保証しましょう 嘘です！

神様 如何様 仏様 夢を見せてCHODAI☆
宇宙船地球号の作業工程は手抜き工事ですか
One for All, All for わんわんお！犬になろう！
猫になろう！君になろう！ だけど人間になりたくないんだ！

ねえ あのさ 私は救われますか
ねえ あのさ 生い立ちが傷だらけなんですわ
ねえ あのさ 駄目なものは 駄目ですか 駄目ですか
ねえ あのさ ねえ あのさ 聞けよ

神様 如何様 仏様 優しくね TONIGHT☆
例の発作 名称はミュンヒハウゼン症候群ですわ
駄目でも 駄目なら駄目なりに 夢を見せてCHODAI☆
宇宙船地球号の作業工程は手抜き工事ですか
One for All, All for わんわんお！犬が好き！
猫も好き！君も好き！ だけど…
人間なんか 人間なんか 人間なんか 大っ嫌いだし！

09 恋するミュータント

目玉は3つで 手足は6つで
だらしないしっぽを 引きずって
そんなミュータント 人間のミュータント
だからさ 優しい君に勘違いをして

おかしい身体と 尖った おつむで
出すぎた 極みを抱えてる
そんなミュータント いつまでもミュータント
独りに溺れて わざと君に捕まえて

きっと迷惑かけちゃうから
こんな気持ちは隠し置いといて
君の瞳に映った 冷たい光は気のせいかな

予知能力も テレパシーも
使えるけど 使わないのだ
「全部わかっている」うそ 残酷な答えが怖いから
狭い産の隅で 恋するミュータント

君の優しさは 実験の一環で
それ以上ないこと気づいてる 気づいてるのに
そんなミュータント さみしいミュータント
他にさ 生きる意味が見つからなかった

酷く ふわついて 邪魔くさいから
こんな気持ちは牙に突き刺しておくよ
日々が壊れないように
急いで壊してしまわぬように ああ

世界征服も 大虐殺も
できちゃうけど やりたくないのだ
未来は予言通り でも 君を悲しませたくないから
目玉を2つ 閉じて「普通」の夢を見た
やがて打たれる 謎の注射も
君が笑えば 怖くないのだ
「君を信じている」うそ だけどさ信じていたから
消えゆく意識で 恋するミュータント

恋したミュータント

10 はっぴーべりーはっぴー

今日も何気ない幸せな日々を 噛みしめて生きているよ
街を見渡せばいつもの空 いつものビル いつもの人ごみ

喧騒に隠れ 暴力と欲が仲良くキスをしている
駅のホームでは痴漢か冤罪か男女が喚き散らす

ああ なんて 完璧で救いようのない ぼくたちの世界
空気を吸い込んだら 肺がチクッとした

ビルの屋上に人影が見える 下には野次馬の山
待ち合わせに遅れるとまずいから無視をして通り過ぎた
ポイ捨てのゴミや嘔吐物で彩られた路を歩いてく
ふと 横目にさっきのビルを見たら
人影はもう消えていた

でも関係ない いつもどおり変わらない間抜けな世界
罪の意識には 麻酔注射で凸凹だらけ 流血はないんだ

ハッピーベリーハッピー いつでも ハッピーベリー探して
ほんとのこと ちょっと忘れて 君と踊りたかったのに
そんなハッピーベリーハッピー 気のせいさ ハッピーベリー
馬鹿らしいぞ 裏切りの日々受け入れた時
今日も仕方なく笑うのさ 喜怒哀楽を貪るハッピーです

作りあげられた 流行り廃りを追いかけて続ける大衆と
宣伝まみれの景色に嫌気がさせば社会不適合者
ステレオタイプな表現の中で異物が淘汰されたり
選民意識は すでに冷え切った愉悦を食べているんだね

上下左右 やたら主張し 差異化ゲームで笑わせてくれよ
まるで加害者妄想なんてしないのね 自尊主義社会で

ハッピーベリーハッピー いつでも ハッピーベリー探して
本音と建前 使い慣れて 居場所見失ってるよ
そんなハッピーベリーハッピー 逃げないでハッピーベリー
動きまわんな ぼやけた視界
記憶ぐるぐる ネットは一日50時間
甘い夢なら目を覚まさなくちゃね

カワイソウ カワイソウ
ボクハ主人公 ワタシハ特別
ナンデオナ生キ物ダロウ
一体ドンナ終ワリカタラスルノカナ
デモ 此処ニイヨウ 此処ニイタインダ
独リニナリタクナイカラ
ナルノガ怖イカラ

あなたはアレを信じますか 信じるのは自由です
かくいう私も「信じないことを信じる教」の信者なのです

路をふさいだキャッチと自意識過剰と被害妄想をかき分けて
アスファルトの上を歩いてく
待ち合わせ場所では 写メの嵐
友の不幸がそこにある

ああ 繁がった そんな感じ くだらない当事者の世界
次の一瞬で 酷いオチがあるかもしれないのね

それでも ぼくらは
ハッピーベリーハッピー いつでも ハッピーベリー探して
ほんとのこと ちょっと忘れて 君と踊りたかったのに
そんなハッピーベリーハッピー 気のせいさ ハッピーベリー
馬鹿らしいぞ 裏切りの日々受け入れた時
今日も仕方なく笑うのさ 喜怒哀楽を貪るハッピーです
残酷な声 放ち放たれ 煙に巻くように 生きるのさ
皆ほどほどに 幸ありますように
ふぁいおつです

11 Paraíso

12 アイマイナ

平穩を保つため 軽い三文芝居で
要らないケーキ食べて
「おいしい。」って微笑むような

優しい君の声が 怖くなってしまったら
冷えた銀河のベッドで ひとり眠るよ

嫌いな物のほころび 暴露するのは容易い
好きな物の欠点は 甘い目で見てシンパシー

もしもしも 切り貼りの
脆い意思 自己投影なら
立ち尽くしている この場所も
宇宙の果てとなって 気づく

曖昧な 曖昧な 曖昧な 今
酷く 曖昧な 曖昧な 今
シーソーが傾いて 途端に黒に染まったら
笑顔に溢れた過去など すべて捨てての

ぼくのつまらないことは 君の面白いこと
ぼくの面白いことは 誰の面白いこと？

もし もしも お望みに
木偶人形に なるのなら
「正義」と謀る プライドも
浮気な塵となって 嫌だ

曖昧な 曖昧な 曖昧な 今
酷く 曖昧な 曖昧な 今
いつか塵が差して 地獄の底に触ったら
人を愛する理由さえも ぼやけるの

白色 軽んじては 恍惚
鈍色 真似て 飛んでく 愚者

とても まっすぐに まっすぐに
まっすぐに 物を疑って
やがて まっすぐに まっすぐに ひねくれるの
幻聴も 俯瞰の目も 自惚れた俗な夢も
空想のリユックにつめて旅でもしましょうか
ねえ、アイマイナ 君の声が 化け物に育ったら
冷えた銀河のベッドで ひとり眠るよ おやすみ

13 さよなら、たましいさん

国民的な ネコ型ロボットを
爆発させて くすぐり笑った
自由帳の上で 悪意無き無邪気で
休み時間をつぶしていただけさ

眠たい授業 黒板はぼやけても
君の横顔だけ はっきり見えてた
叶わない夢とか 叶わない恋とか
物語の向こう側にあった頃

とりあえず
こんにちは、たましいさん
世界の終わりを見ちゃったら
特別でも なんでもない
そんな毎日が不思議になったこと

演技がかった 説教の途中に
先の見えない未来を家じた
はやく帰りたいな ゲームとかしたいな
注ぎ込まれた道徳がこぼれて

このまま 悪い人間になって
汚いことでも平気になるからね
例えば 面白いように
偉そうな あいつみたいに
自己弁護に磨きかけて

らりらりら

こんにちは、たましいさん
今日も おいしいご飯あげる
気分はとても 悪いけど
今は大丈夫ってつよがり言いながら

選挙ポスターの耍な作り笑いや
バラエティのつけたし笑いに
負けないように 笑おう

こんにちは、たましいさん
あなたと出会えて良かったな
さよならの日は 怖いけど
それまで もうちょっとだけ
よろしくね

笑いあって ぶざけあって
楽しくって 寂しくって
いがみあって 泣きまくって 苦しくて
憶えて さんざめて
恋をして 年をとって
そんなしょうもない毎日が嬉しかったから

14 どうしてちゃんのテーマ

わけわからない この世界で
わけわからない 生をうけて
わけわからない さみしさで
かみそり獲った

どうして どうして どうしてって叫ぶ
どうして どうして どうしてちゃん てつがく
どうして どうして どうしてって君の分も
どうして どうしてって悩む

疑問だらけのこの世界を
疑わずにつまづくひと
疑いすぎでしんどいひと
このしっぽとまれ

どうして どうして どうしてって嘆く
どうして どうして どうしてちゃんは無学
どうして どうして どうしてって知らない部分も
どうして どうしてって悩む
どうして どうしてちゃん悩む

ビルの上から 校舎裏から 部屋の隅からきこえる
田舎道から ネット上から 君の脳からきこえる
寒い国から 暑い国から 世界中から 宇宙の果てから
きこえる きこえる

どうして どうして どうしてってきこえる
どうして どうして どうしてちゃんてつがく
どうして どうして どうしてって未来の分も
どうして どうしてって悩む
どうして どうしてちゃん悩む

悩む 血まみれで 悩む

Bonus Track マンネリズム

1ときたら2ときて 3ときたら4ときて
5ときたら6ときせかけて 何のひねりもない6
甘い言葉キュンときて アバンチュールにグッと来て
それがすべてと言いついて 毎日に恋をしてる

あれ これ 遊び疲れたかな
大好きな日々が もうつまらないなんて

くりかえし くりかえし 責任なすりつけながら
やりなおし やりなおし やがてどうでもよくなって
マンネリズム マンネリズム マンネリズムの
最短ルートを 避けて 避けて
今度こそは…

AときたらBときて CときたらDときて
EときたらFと見せかけて 何のひねりもないF
運命だとピンときて ゴミもジャンクもグッと来て
それが好きだと信じながら 途切れ途切れ 探してる

あれ これ 心壊れたかな
綺麗な虹が もうありきたりなんて

ふりかえり くりかえり 足跡を確かめながら
やめたいのに やめたいのに 馬鹿の一つ覚えなんて
マンネリズム マンネリズム マンネリズムの
第三ゲートで 待ってて 待ってて
もういないかな

からまわり からまわり いったりきたり どっちらけ
神頼み 神頼み 冷静さを見失って
マンネリズム マンネリズム マンネリズムの
最短ルートを 避けて 避けて 避けて

くりかえし くりかえし 同じ場所でもがきながら
やりなおし やりなおし ほんの少し進んでって
マンネリズム マンネリズム マンネリズムの
第三ゲートで 待ってて 待ってて
もういないかな



01 ぼくも屑だから

音楽に乗せて 映像に乗せて 伝わる感情を
メディアを通じて ネットを介して続く化かしあいを
耳触りのいい言葉が並ぶ演説の冠蓋を
削いならされた自分自身に向う 未知なる想像を

声 (別にバレてもいい本音)
声よ (仲間内だけの本音)
声 (墓まで持っていく本音)
声よ (ちゃんと選んだ上で)

君は 馬鹿で アホで マヌケで 不器で
酷く短気で 頑固者で 甲斐性なしで
少し偉そうで 姑息で バレる嘘ついて
弱虫で 嫉妬深くて
でも 嫌いにはなれないや
ぼくも屑だから

声帯通して 肌と肌触れて 伝わる愛情を
足並みそろえて 顔色気にして 蔓延る冷笑を
明るい家庭の裏に積まれた産業廃棄物を
お腹が膨れるほどに飲み込んだ本音の奔流を
教えて ちょっとだけ

声 (別にバレてもいい本音)
声よ (仲間内だけの本音)
声 (墓まで持っていく本音)
声よ (ちゃんと選んだ上で)

君は カスで ボケで ぼんくらで 無知で
人でなしで 非常識で サイコパスで
自分勝手で けちんぼで 口悪くて
気遣いで 反り合わなくて
だけど少し似てるどこもあって

君は 馬鹿で アホで 間抜けで 不器で
酷く短気で 頑固者で 甲斐性なしで
少し偉そうで 姑息で バレる嘘ついて
弱虫で 嫉妬深くて
でも 嫌いにはなれないや
ぼくも屑だから

02 胸いっぱいのだめを

空気が読めないからだめ 心を見透かしてもだめ
押柄な接客はだめ 偉そうにする客もだめ
流行りに流されたらだめ 流されず胸ってもだめ
簡単に凹むからだめ 無神経ならもっとだめ

夢ばかりをみて 目の前のこと ないがしろにしちゃだめ
現実ばかりみても 気持ちが暗くなるからだめ
勝手にプリン食べちゃだめ カレーに毒を盛っちゃだめ
だめだめいうのもだめだ その着地点もだめだ
迷いながら 正解こじらせて進もう

胸いっぱいのだめを 胸いっぱいのだめを
胸いっぱいのだめをかき集めて
死にたくて 生きてたくて その中間に 投げたんだ
中学生のだめを 高校生のだめを この人生のだめを抱えたまま
だめでもいいじゃないか なんてね 騙されちゃだめ

無責任な本音はだめ テキトーなゴマすりもだめ
順番抜かしをしちゃだめ そいつをぶん殴っちゃだめ
優しさにすぐ惚れちゃだめ 厳しさにすぐ泣いちゃだめ
いつかは死んじゃうからだめ 不老不死ならもっとだめ

前向きになれと 明るい気持ちの押し売りをしちゃだめ
後ろ向き過ぎて 悲しい気持ちに酔っぱらってもだめ
ゲームでムキになっちゃだめ チートで調子こいちゃだめ
だめだめいうのもだめだ すべて許すのもだめだ
悩みながら たまに ふざけながら 細解いていこう

海いっぱいのだめを 山いっぱいのだめを
ビルいっぱいのだめを探しながら
逃げたくて 追いかけて 靴底に 貼りついたんだ
商業主義のだめを 完璧主義のだめを
相対主義のだめを 履き進んで
全部がだめじゃないか なんてね サジ投げちゃだめ

だめだめ 恐怖を煽って 印象操作するのはだめ
だめだめ 訴えながら 焼き肉が ほんとうまくてだめ
だめだめ 狭い視野はだめ だめだめなものって 何でだめ
あれもだめで これもだめで 心が狭くなってたのは何故

この国のだめを この世界のだめを
この宇宙のだめを書き加えて
壊したり 直したり お祭りやしたりするんだ

胸いっぱいのだめを 胸いっぱいのだめを
胸いっぱいのだめをかき集めて
死にたくて 生きてたくて すぐに美化したがるんだ
中学生のだめを 高校生のだめを
大学生のだめを 社会人のだめを
小学生のだめを 赤ん坊のだめを 徳け老人のだめを
胸いっぱいのだめを 胸いっぱいのだめを
胸いっぱいのだめを 胸いっぱいのだめを
胸いっぱいのだめを 胸いっぱいのだめを
抱えながら行こう

03 ニナ

食べられそうにない ゲテモノが
主食になる時が来る頃に
愛されそうにない バケモノが
無類の愛を いくつか手に入れる頃に

タイムマシン 違法だって
空飛ぶ車 邪魔だって
そんな時代 迎えたって
じきに慣れるから 慣れてしまおうかな 嫌だな

生きていることが 楽しくなったらいいのにな
憂鬱な未来も少し笑えたら嬉しいいな
ひねくれもの君を喜ばせたり
みんなも驚く発明できたらいいのにな ニナ

絶望を見せつける 腫れ物が
突然 希望のうた 歌う頃に
何にでも唾を吐く 馬鹿者が
成長しヒーローになっていく頃に

遺伝子の謎 解けちゃって
宇宙の果てに 着いちゃって
生きての意味 悟っちゃって
次は何をしよう 何ができるかな 今は

明日は天気予報通り晴れりゃいいのにな
真理も神様も ギャグに近ければ嬉しいな
変な神様のほった つねってみたり
邪悪な心も肥やしになつたらいいのにな ニナ

生きていることが楽しくなつたらいいのにな
地球のどこかに まだ野良猫はいるのかな
未来の君に 電話で聞いてみたい
いてもいなくても 「心配すんな。」と言うのにな
みんなも驚く発明できたらいいのにな ニナ

04 週刊少年バイバイ

みんなの心揺むため 超能力が使え
アンケートハガキのため 必死で戦っているの
運動したり 恋したり ライバルと手を組んでも
数日後の未来に 打ち切りが決まっているでしょう

流行りと廃りをかきわけて 僕は生まれてきたけど
折り返し目がついたり 読み飛ばされたり それでも立ち向かうのしょう

早送りされる時間は 軽く捨てられる命は
物語を 物語を 終わらすためのなの？
真っ黒なインクの血を吐き出しながら

素直な気持ちを叫んだって 良くある記号の羅列だって
違う 違う 違う 違う 違う 違う 違う 違う じゃん
生まれた意味を考えたって 知らない漫画のキャラクターって
痛い 痛い 痛い 痛い 痛い 痛い 痛い 痛い 痛い 痛い 痛い 痛い
痛い 痛い 痛い 痛い 痛い 痛い

バイバイ

空回りをしたネームが 唇を乾かしてゆく
誰も見えない背景が 主線に重くのしかかる
特徴の無い捨てキャラが 黙ってこっちを見てる
四角を保つ泥濘に 足を取られて沈んでく

蜘蛛の子散った伏線は 練りに練られた展開は
もういらぬ もういらぬ 必要ないけど
友情や努力や勝利は どこへ消えるの

量産された憧れだって 数字で殺す暴力だって
偉い 偉い 偉い 偉い 偉い 偉い じゃん
愛する あなたを守れたって 中途半端な結末だって
辛い 辛い 辛い 辛い 辛い 辛い
辛い 辛い 辛い 辛い 辛い

描かれるはずだった物語が
切の彼方へ 捲じ曲がる

冷やかな声も 惜しまれる声も
低空飛行で消えてゆく 白黒のヒエラルキー

1ページ目から始めて 最後のページを迎えて
僕の旅が 僕の旅が 終わってしまうの
そして誰の記憶に 残るのだろうか

漫画じゃ起こせる奇跡だって 現実じゃ笑い話だって
嫌い 嫌い 嫌い 嫌い 嫌い 嫌い じゃん
助けてくれて叫んだって 良くある記号の羅列だって
違う 違う 違う 違う 違う 違う 違う 違う 違う 違う 違う 違う
打ち切り漫画のキャラクターが
あなたの姿に良く似ていて
痛い 痛い 痛い 痛い 痛い 痛い 痛い 痛い 痛い 痛い 痛い 痛い
痛い 痛い 痛い 痛い 痛い 痛い

先生の次回作に ご期待下さい
先生の次回作に ご期待下さい
先生の次回作に ご期待下さい

先生の次回作に

05 m/es

手足はまだ動くかな 魔法唱えてよドクター
伸びてく爪は パズルを引っ掻くために
楽しく過ごした日々が 虚構混じりに明滅していた

リズムを縫い合わせても 鼓動は途切れ途切れか
案の香りは理科の実験のように
命をくぐるんだ布は かすかに揺れた

明るい手術台上 麻酔で痛みを溶かして
ツギハギだらけの肉体で君と踊る夢を見る
悲劇をメスで切り裂いて 観客の涙腺を閉じて
満面の笑みで言う 「ザマミロ」

びびっぴびっぴっ…

天井に映りこんだ 挫折と怨嗟のシアター
過ぎた自惚れはノズルを汚すために
冷たい心電図のイカれたメモリー

暗いモルグを抜け出して ソンビは月明かり浴びて
筋組織を千切られながら 君と踊る夢を見る
酷い腐臭を振りまいて 淡い感動ぶっ壊して
崩れた笑みで言う 「シアワセ」

他の 別の 誰かと踊る
君の呼吸が 耳に触れた
闇と光と 光と闇の
輪廻の連鎖の合間に

現実から隔離されて こじつけの答え探して
頭と身体がバラバラに君と踊る夢を見る
駄作の三文芝居を 望まれなかった芝居を
演じ続けるために

明るい手術台上 麻酔で痛みを溶かして
ツギハギだらけの肉体で君と踊る夢を見る
悲劇をメスで切り裂いて 期待外れに生き延びて
満面の笑みで言う 「ザマミロ」

びびっぴびっぴっ…

06 アッカンペーダ

次のセリフは何だったっけ
何て言えば正解だったっけ
言いたいことは 沢山あるのに 場面違いな

放課後 教室 二人きり
頭ごちゃごちゃになっちゃって
急に刺したり 首を絞めたら 大事件だね

特別な あなたの目の前で
かすかに 震えてるの
愛しい世界に 揺れるオレンジの光

素直に喋りたい 素直に喋りたいのにお
時間切れの合図が鳴り響くから
「何でもない、また明日。」
背を向けて 逃げだすように
「何でもない。」 笑いながら アッカンペーダ

呼吸おぼつかなくなって
歩き方に正解あったっけ
真っ赤な顔も 熱い指先も 他人みたいね

わかりやすい あやつり糸で
あなたの望むままに 手の平の上で
同じ言葉 くりかえす ただ くりかえす

想いを伝えたい 想いを伝えたいのにお
台本にないセリフは言えない また
次のセリフは何だったっけ
何て言えば正解だったっけ
言いたいことは 沢山あるのに 場面違いな

「何でもない、また明日。」
溢れる好きを隠すように
決められた 筋書きに
仕方なく従うように
「何でもない。」 笑いながら アッカンペーダ
アッカンペーダ

素直に喋りたい

07 こどものしくみ

砂糖を舐めたら 甘い味なのは知ってる
だけど飛行機雲が どんな味するかは知らない
この夏休みが いつか終わること知ってる
だけど ぼくらが死んだら どうなるかは ピンとこないまま

最高の 最高の 思い出たちは 成長の 成長の 痛みとともに
気持ち悪い虫でも手掴みで 気持ちが良いと頬を赤らめて
最低な おとぎ話 だけど まだ居場所はどこにあった

こどものしくみ 教えてよ ねえ
大人の先入観はしょうもないの ねえ
低い身長を武器にしなごら
感情のしくみを分解して ねえ
すべてを見透かし やんなくても ねえ
夏の夜 ドキドキしたかった 君と

大人に買った おもちゃの笛を鳴らしてる
だから やましい気持ちで白痴のふりを続けてる
まるで 夕闇の地雷原を走るみたいだな
影が伸びてく 祭囃子は遠のく

想像の 想像の ちっちゃな花火は 愛情を 愛情を 飲み込むように
くじらの背中で溺れるたびに 絵日記に修正入るたびに
調子ついた現実が ついに 秘密基地をぶっ壊した

こどものしくみ教えてよ ねえ
センパイの倫理観は問題ないの ねえ
古いセ不思議 真に受けながら
醜い心を後悔して ねえ
笑顔の写真破らないで ねえ
蝉時雨 ワクワクしたかった ずっと

蚊帳の中で眠っていた 昔のぼく 平和そうな寝顔

こどものしくみ教えてよ ねえ
大人の先入観はしょうもないの ねえ
低い身長を武器にしなごら
感情のしくみを分解して ねえ
すべてを見透かし やんなくても ねえ
瓶のラムネをこぼしながら また

醜い心を後悔して ねえ
表現の自由 奪わないで ねえ
夏の夜 ドキドキしたかった 君と

何でもできると信じていた ちいさなてのひら

08 ストレンジアニマル

愛らしい チャームポイント 丸出して
隙だらけ 油断大敵 牙をむく
嬉しがり 子供騙かす 旅をする
珍しい 変な生き物 リバイバル

手付かずの 隙間産業 ファンタジー

トコトコと 短い足で どこへ行く
喋りたい だけど喉は破れない
中の人 のぞき穴から 空見上げ
隠めた その正体は ちらちら

案裏裏 猫とねずみは 仲良しで
カメラ前 法令順守 ハイポーズ
寂しがり 子供騙しは 数知れず
増えすぎた 変な生き物 サバイバル

抜け目ない 哀愁混じるプロフィール

モフモフと 毛並みをなぞる 人気者
選ばれし 奢った思想 抱くのは
中の人 おなかずかせて やむを得ず
隠めた その目的は ちらちら

ぼめぼめぼ あばばふげふげ
にやはは ふええ
もちょもちょよも ぐにやらうなうな
びこびこぶー
鳴き声をお気に召すまま 喋れない

隠めた その正体は ちらちら
ちらちら

09 かえるたちのうた

生ぬるい夜の水辺を
ゆっくりとなぞる とろけた月明かり
神様の声におびえて 深い井戸の底
丸い宇宙見上げ歌う 一匹のかえる

誰も聴いちゃいないけれど
草木の呼吸にメロディ混わせて

ける ける ける ける
楽しそうにかえるは歌う
縛られず 誰にも邪魔されず
好きな歌を歌う

「素敵なお歌をもっと聴かせて。」
暗い井戸の底 灯りを運ぶ蛍
初めて 差しのべられた 期待の声に
少しおどけて 真っ赤なべろを垂らす

君が聴いてくれるのなら
しっぽの光にBPMを合わせて

ける ける ける ける
楽しそうにかえるは歌う
ゆらゆら舞う 蛍のダンスに
見惚れながら歌う

やがて 井戸から灯る光につられ
色んな かえるたちが集まりだし
あたたかい声と つめたい声の
思惑の粒が投げ込まれ 水辺を波たせてゆく

ける ける ける ける
孤独だった かえるのうたが
気づけば 賑やかな輪となって 星空を震わす
ける ける ける ける 悩みながら かえるは歌う
ほんとの気持ちを隠したまま
なるべく好きな歌を歌う

そして月日は経ち 穴底の歌声は消えうせ
やがてまた 別の穴底から
新たな かえるの歌声が

10 遊星まっしらけ

最初はどうな生き物だったかな
進歩の過程で失われた 尻尾があった
鳥になったり 虫になったり
魚になったりする その度に
あの頃はどうかしていたのかな
なんてね

忘れない 狭いコクビツの中
乗り物酔いの薬を飲んで 目を閉じていた
花になったり 虫になったり
人になったりする 長い旅に
帰り道はもう無かったから

溜め息と 勝手知ったる憂鬱を
燃料に混ぜながら
何処までも 飛べるかな

いつの間にか

終わってしまった後の世界の果てで
醜い生き物たちが二人
次はどんな星を壊すのだろう
空を見下ろし 強がりながら
物悲しげに微笑むだけ

駆け引きと
打算だらけの現実を
切り離し 爆ぜながら
まだ 加速できるかな

そしていつか

壊れちゃった後の地球の外へ
疑い深く生きた二人
しらけたふりして 愛していた
ろくでもない世界を
終わってしまった後の世界の果てで
醜い生き物たちが二人
次はどんな星を壊すのだろう
空を見下ろし 強がりながら
物悲しげに微笑むだけ

11 ひとりぼっちのユーエフォー

花は枯れた
どこか優しい色をしてる
でも 誰も知らないんだ
みんな知らないんだ

顔を描いた
会えなくなった君の顔を
少し悪い歯並びも
ぼんやり覚えてるんだ

ああ
UFOが見えるから
誰かに知らせなきゃ

ねえ 幾千回 感動した思い出も
ひとりぼっちの妄想だった気がして
また 好きなものを見つけたら
頭は治るかな

「星が落ちた。」
脳に直接 語りかける
あいつの声を信じた
酷く冷めた目つきで

ああ
不幸は癖になるから
はやくころさなくちゃ

ねえ 幾千回越えてきた遺伝子も
辿り着いたのは狭い病室で
汚れたパジャマを 着替えたなら
家に帰れるかな

君がいないから
描いてます 絵を描いてます
理解されたいことのすべてが
偽物で困ります

ああ

たくさん悩んで伝えても
病室のカーテンが揺れるだけ
もし 君のことを忘れたら
UFOは消えるかな
幾千回 感動した思い出は
妄想でも忘れられないからね
また 好きなものを見つけたら
あの頃のぼくに戻れるかな



12 忘れちゃったのどうして

はじめて ビー玉透かして覗いたこと
はじめて お箸使ってごはん食べたこと
はじめて 誰かの真ぶ笑顔 見たことさえ
忘れちゃったの どうして
忘れちゃったの どうしてなの

はじめて おつかいがちゃんどできたこと
はじめて 自転車で隣町へ行ったこと
はじめて 気の合う友達と馬鹿やったことさえ
忘れちゃったの どうして
忘れちゃったの どうして

大切な人を悪者にする度
優しい人々の隠しあいに慣れる度
強くなったふりして
ぬくもりが不倫して
忘れちゃったの どうして どうしてなの

はじめて 追いつめられて噛ついたこと
はじめて 裏切られて
くしゃくしゃしぼんだこと
はじめて 傷つける気持ちよさを
知ったことばかりが
こびりつくのは どうして
こびりつくのは どうしてなの

伝わらないまま 除け者にされる度
運命の恋人と刺し違えて泣く度
諦めたふりして 誰か攻撃して
忘れちゃったの どうして
積みあげたことが まっしらけの塵となり
いつか訪れる さよなら受け入れる度
壊れちゃったふりして
ほんとは壊れて
忘れちゃったの どうして どうしてなの

どうして どうして どうして
どうして どうして どうして
どうして どうして
どうしてって君の分も
どうしてどうしてって悩む 悩む

13 ゲームスペクター2

子供の頃だけ遊んだ君の
葬式あと 残る雑音のにおい
これからも続く毎日の
あてどなさ目を開ける

アパートその日暮らし 午前二時
枕元 死んだ君が化けて出て
「うらめしや、祟る気はないよ。」
半透明でニヤリ

「昔、よくやったあのゲーム
君に借りパクされたゲーム
まだクリアしてないから
あの世にいけない。」

だから おばけの君とゲームをピコピコ
相変わらずヘタクソだね
いつも どうしてうまくいかないのかな
どうして あっさり死んじゃうのかな

るるる…

君が選んで浮いてるコントローラー
一応 もてなした ポテトとコーラ
そいつを横目に来月の
家賃のこと考える

ろくに勉強せず二人
ゲームの貸し借りをしたり
返すつもりはあったのに
急に疎遠になって

だから おまけの日々を 選ばうガチャガチャ
協力プレイ機がしいね
いつも どうして そこで突っ込むのかなあ
どうして ぼくだけ生きてるのかな

通りすがりの浮遊霊がぼくらを
指差してクスクス笑ってるんだ

ワンパターンなギミックに ワンパターンに殺されて
だんだんパターンを掴み やつとラスボス前って所で
ゲームクリアのその先に 望んでる続きはないって
生きてきたセーブデータも いつか上書きされるって

だけど おばけの君とゲームをピコピコ
悲しくても やらなくちゃね
ポロポロと辿りついた
エンドロールに知らない人の名前
そして 二人はハイタッチ すり抜けゲラゲラ
窓の外はもう朝だね
「いつも失敗だらけだったけど、
それなりに楽しかったよ。」
マヌケ面で君は姿を消した

ぼんやり徹夜明け 痺れた頭と
ほんとしようもない 思い出のにおい
実はゲーム機にとり憑いた
君はまだ気づかないまま
アダプタは暖かいまま



14 スケベニンゲン

美の言葉に見せかけた あるあるネタだし
日焼けの顔によく似てますけど専手だし
ゲーキ入刀を利用しての処刑法だし
集積の街並みに馴染む即身仏だし

久しぶりの一目惚れがマネキンだったし
本日のラッキーアイテム 卒塔婆だったし
床屋におまかせしたら トレバネーションだし
駅の改札挟まり 号泣する力士

もう、いいかい 河童あたりで
人魚になれないから
きゅうり噛みしめよ

wwwエキサイト それアフィリエイトサイト
腹切ります 首打ちます J-POP楽しいね
崖っぷちで乾杯を 呪詛を込めて喝采を
おとなしい顔をして スケベニンゲン

親友と思った矢先のゴングショーだし
テコ入れて突然バトルーナメントだし
タックスファンドと並走する おばあちゃんだし
理論武装で固めた結果 竹槍だし

魔法少女を夢見て 磁気ネックレスだし
豆を撒きすぎたら 鬼がスライムになったし
長い旅をしてるけど 意のない部屋だし
世界が終わる瞬間 頻張ってる ふ菓子

ねえ、もっと 感動させてね
涙も濡れたし
目にレモン汁かけよ

だるだるだるアルバイト エンタメのサーサイド
バラしてます 恋してます 4コマ可愛いね
シャブをキめる先輩と 指をしゃぶる三歳と
いじらしい顔をして スケベニンゲン ニンゲン

ああ スケベニンゲン ニンゲン
スケベニンゲン ニンゲン

世界平和を願いつつ 恐怖政治だし
映画で泣いた後に 快楽殺人だし
電車の開っこ アツプアツプツ 独り言だし
永遠の愛に似てるのに ただの石だし

ああ かき回す うずまき ぐるぐる
脳に突き刺さる MENBO MENBO MENBO

wwwエキサイト それアフィリエイトサイト
腹切ります 首打ちます J-POP楽しいね
だるだるだるアルバイト エンタメのサーサイド
バラしてます 恋してます 4コマ可愛いね
崖っぷちで乾杯を 呪詛を込めて喝采を
おとなしい顔をして スケベニンゲン
スケベニンゲン ニンゲン

DISC2

Bonus Track

たのしいホームワーク

行ってきます

勉強せずテストで「100点」とれる
いや、勉強しなきゃ「100点」とれない
授業中居眠り いや、ノートに書き取り
山手線の駅 全部言えるかい やいやいや

自然に友達「100人」できる
いや、よく考えなきゃ「100人」できない
人生は楽しい いや、人生謎解き
どちらにせよ先生は褒めてくれる

天才と秀才だったんだ
子供同士 背比べなら

「宿題やっただけど全部 家に忘れました。」
落ちこぼれタカシ(仮名)の最強魔法飛び出す
先生は苦い顔 失笑漏れる教室
タカシ(仮名)を軽蔑するね
まったく同意見だね
嫌味かい？ 普通でしょ
嗚呼、ぼくらは優等生

お互い今回何点「80点」まあまあだ
いったいタカシ(仮名)は何点「3点!？」 そうなんだ
明るい家庭 「察めますか!」
一流企業 「入れますか!」
成長に比例して膨らむ野望

何か欠けているような
猛スピード止まらないまま

天才的なイメージも だんだん割れてきました
秀才の自己アピールも 頭の中真っ白
ドッキリ番組なんですよ？ キョロキョロ カメラ探す
知らない宿題が積み重なってしまって
見えづらい 苦痛のショー
嗚呼、幸せかくれんぼ

あの頃は良かったな
こんなはずじゃなかったのにさ
この頃は袋小路 落ちたい海
最近変な夢を見る 楽勝のテストが
たったの13点に変わる夢

そんな言葉使ってたっけ？
そんな計算してたっけ？

宿題やっただけど全部 過去に忘れました
落ちこぼれタカシ(仮名)の魔法 今思い出す
いまさら間に合うかな？ 楽勝で間に合うよな
溜まった宿題が笑顔で攻めてくる

100点とっていたのに20点にも満たない
でも幸せの形は人それぞれあるという
「宿題やっただけど全部 家に忘れました!」
宿題これからやるから
だから点数を返して

あ、タカシ(仮名) 久しぶり
今何点？ いま84点!？
えー なんで!？ すごくね!？



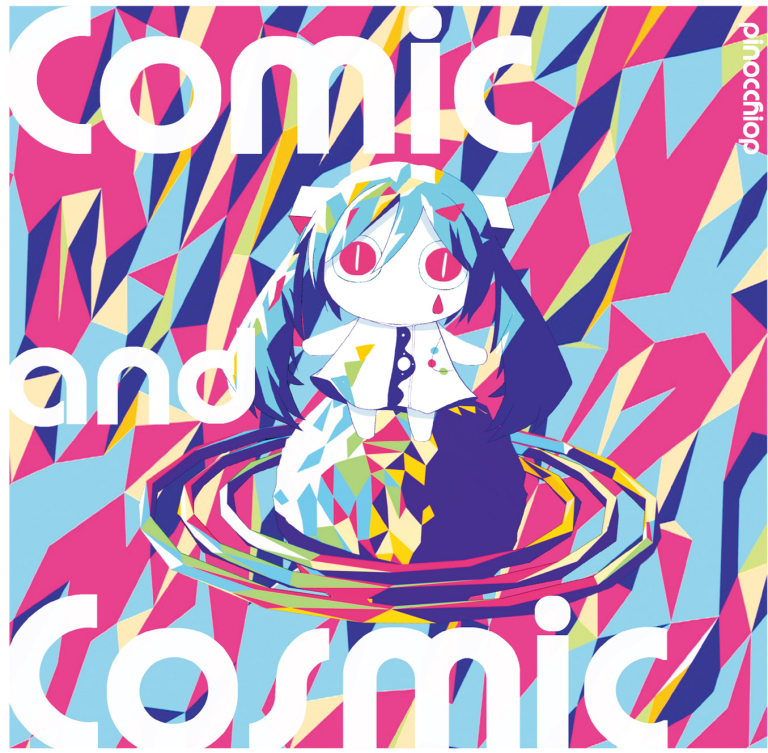
All Songs & Lyrics
Written, Arranged by PinocchioP

(except disc1-track4 Lyrics by PinocchioP &
All listeners at the 4/22/2011 Nico Live)

Mixed & Mastered by PinocchioP at Home Studio

Illustrated & Designed by PinocchioP
Graphic Assistance by Yuma Saito

(取り扱いのご注意) ●ディスクは両面共、指紋、汚れ、キズ等を付けないように取り扱ってください。●ディスクが汚れたときは、メガネふきのよう
な柔らかい布で内面から外面に向かって放射線状に軽くふき取ってください。レコード用クリーナーや溶剤等は使用しないで下さい。●ディスクは両面共、
鉛筆、ボールペン、油性ペン等で文字や絵を書いたり、シール等を貼付しないで下さい。●ひび割れや変形、又は擦傷等で損傷したディスクは、危険で
すから絶対に使用しないで下さい。(保管上のご注意) ●直射日光の当たる場所や、高温多湿の場所には保管しないで下さい。●ディスクは使用後、元の
ケースに入れて保管して下さい。●プラスチックケースの上にも重いものを置いたり、強としたりすると、ケースが破損し、クガをすることがあります。





Comic

DISC1

- 01 Floating Shelter
- 02 からっぽのまにまに
- 03 ユメネコ
- 04 tel tel
- 05 OZ
- 06 腐れ外道とチョコレートト
- 07 とうめい
- 08 人間なんか大嫌い
- 09 恋するミュージタント
- 10 はっぴーべりーはっぴー
- 11 Paraíso
- 12 アイマイナ
- 13 さよなら、たましいさん
- 14 どうしてちゃんのテーマ

Bonus Track
マンネリズム

Cosmic

DISC2

- 01 ぼくも屑だから
- 02 胸いっぱいのだめを
- 03 ニナ
- 04 週刊少年パイパイ
- 05 m/es
- 06 アッカンベーダ -miku ver-
- 07 こどものしくみ
- 08 ストレンジアニマル
- 09 かえるたちのうた
- 10 遊星まっしらけ
- 11 ひとりぼっちのユーエフォー
- 12 忘れちゃったのどうして
- 13 ゲームスペクター2
- 14 スケベニンゲン

Bonus Track
たのしいホームワーク

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO



PinocchioP All Rights Reserved PINO-0007-0008[2CD]
Pressed By TRANSMIX STEREO 16.12.31

このCDを権利者の許可なく貸貸業に使用すること、個人的な範囲を超える使用目的で複製すること、また、ネットワーク等を通じてこのCDに収録された楽曲・データを送信できる状態にすることを禁じます。

Comic and Cosmic

廃盤となつた3作目「漫画」4作目「遊星まっしらけ」を
最新技術で再ミックス、リマスタリングを施し、生まれ変わった決定盤。

ピンキオピー / COMIC AND COSMIC

ピンキオピー

Comic and Cosmic

PINO-0007-0008



ic and Cosmic

PINO-0007-0008

[2CD]



Comic

Comic
and
Cosmic



COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

DISC

1

pinocchiop

Comic
Cosmic

Comic
and
Cosmic



COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

DISC 2

pinocchiop